

株主の皆様へ

Shimadzu Report

第149期 中間事業のご報告

平成23年4月1日～平成23年9月30日

株式会社 島津製作所



〃世界の顧客に選ばれる

“No.1パートナー”を目指して

Contents

株主の皆様へ	1
事業の概要	2
連結決算の概要	5
トピックス	7
会社概要・株式情報	10

※表紙写真の説明は、9頁をご覧ください。

株主の皆様へ

株主の皆様には平素格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第149期上半期(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の
事業のご報告をお届けいたしますので、
ご高覧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成23年12月
取締役社長

中本 晃



当上半期の業績

当上半期のわが国経済は、東日本大震災の影響により
厳しい状況で推移しましたが、生産活動の回復を受けて、
持ち直しの動きがみられました。

海外においては、アジアでは中国やインドを中心に景気
は拡大しました。欧州では一部の国で財政危機が懸念され、
景気の改善ペースが鈍化しました。米国では失業率の高
止まりや個人消費の伸び悩みなどで、景気回復は弱いもの
となりました。

このような情勢のもとで当社グループは、2011年4月から
新たな3か年の**中期経営計画**をスタートさせており、中国
での現地開発の促進、グローバル戦略商品の投入、計測機器

のサービス子会社統合によるアフターマーケット事業の
強化など、成長に向けた施策を積極的に進めています。
また、顧客ニーズに対応した競争力ある新製品の投入や
コストダウン、経費削減などにより、厳しい円高のもと、業績
確保に努めました。

この結果、当上半期の業績につきましては、売上高は1,253
億7千4百万円(前年同期比7%増)となり、営業利益は73億9
百万円(同56%増)、経常利益は63億4千2百万円(同62%増)、
中間純利益は21億4千4百万円(同23%減)となりました。

中間配当金につきましては、1株につき4円とさせていただきます。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、急激な円高状態、欧米での
財政・金融問題など、事業を取り巻く環境は厳しさを増すもの
と思われれます。このような経営環境のなかで、海外生産・海外
調達の拡充や一層のコストダウンなど、グローバルな視野に
立った事業展開や収益力強化の施策に取り組むことにより、
厳しい円高のもと、業績の向上を目指して参ります。

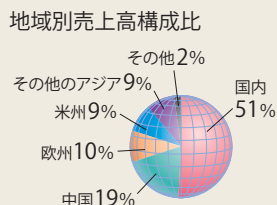
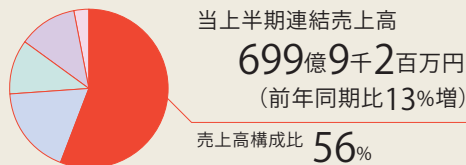
当社グループは、「**真のグローバル企業へ**」という長期
ビジョンのもと、当期より新たな3か年**中期経営計画**を
スタートさせました。本計画では、「**世界の顧客に選ばれる**

No.1パートナー」を**目指す**という基本方針を掲げ、グロー
バル戦略商品の投入とソリューションの提供により、先進国・
新興国の双方で成長することを戦略とし、①グローバルな
成長の追求 ②顧客に選ばれるソリューションの提供 ③成長
市場・強い事業への集中 ④収益体質の改善 の施策を着実
に実行することで、経営環境の変化にも対応し、当社
グループが大きく成長することを目指して参ります。

株主の皆様には、今後とも引き続きご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。

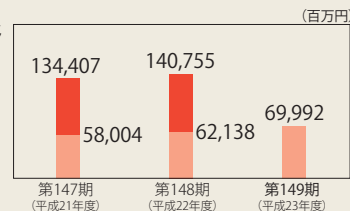
事業の概要

計測機器事業



売上高推移 (連結)

通期 上半期



【概況】

- 国内市場は、民間市場では、市況の好転に伴い設備・研究開発投資が回復する中、主力製品の新品投入効果もあり、液体クロマトグラフが製薬・化学分野で好調に推移しました。ガスクロマトグラフや試験機は化学分野で、また非破壊検査装置は電機および輸送機分野で売上が増加しました。官庁大学市場では、文部科学省の科学研究費増額や新品効果などもあり、液体クロマトグラフや質量分析計が増加しました。
- 海外市場は、液体クロマトグラフおよび質量分析計が、中国における医薬分野や食品・農産品検査用などの食品安全分野での需要増、北米における新品効果、また欧州におけるロシア等の官公需の伸びなどにより

好調に推移しました。ガスクロマトグラフは、中国の化学分野や北米の石油化学分野の需要増を中心に売上が増加しました。また非破壊検査装置や光分析装置は、中国におけるスマートフォンの生産拡大に伴う関連分野での新たな需要もあり売上が増加しました。

主な製品

液体クロマトグラフ、ガスクロマトグラフ、質量分析計、光分析装置、表面・組成分析機器、環境計測機器、材料試験機、非破壊検査機器、光学デバイス、レーザ機器、はかり

【トピックス】「分析展2011／科学機器展2011」(9月7日－9日 千葉・幕張メッセ)で当社ブースが盛況

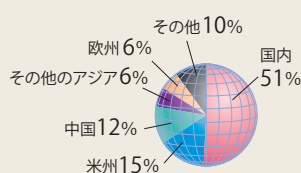
国内最大の分析機器業界の展示会において、当社ブースは多くの来訪者があり盛況でした。中でも超高速液体クロマトグラフ、高速アミノ酸分析システム、紫外可視分光光度計などの分析業務の効率化とデータの信頼性向上を両立する新品(9頁「主なトピックス」をご参照)が注目を集めた他、太陽電池・リチウムイオン電池の素材・性能等を評価するアプリケーション(測定・解析手法)展示も好評で、今後の販売拡大につながるものと期待しています。



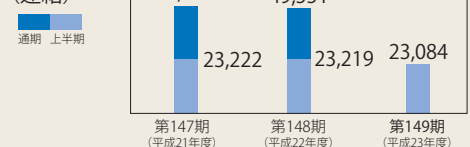
医用機器事業



地域別売上高構成比



売上高推移 (連結)



【概況】

- 国内市場は、フラットパネル検出器 (FPD) を搭載したX線血管撮影システムとX線テレビシステムが堅調に推移したものの、東日本大震災の影響などもあり、全体の売上は微増となりました。
- 海外市場は、円高の影響などもあり、全体の売上は減少しましたが、北米ではデジタル式回診用X線撮影装置

および一般撮影装置が好調に推移しました。政府による医療分野への重点投資が続く中国では、医療改革が地方病院まで浸透しつつあり、市場ニーズに対応した現地生産品が伸び、売上が好調に推移しました。

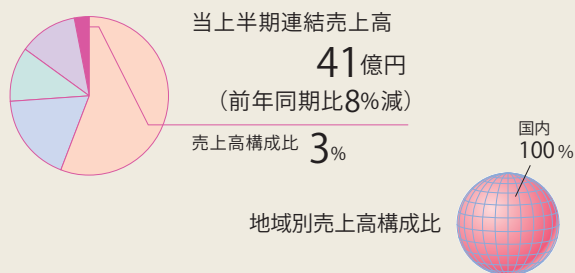
主な製品

診断用X線装置、診断用核医学装置、光脳機能イメージング装置、医療情報システム

【トピックス】 米国の第三者機関の評価で 顧客満足度1位を獲得

当社は、米国のお客様が医用機器購入の際に重視される顧客満足度調査において、米国の2つの第三者評価機関で第1位に選ばれました。ユーザーの声をもとにして技術力、サービス力、コストパフォーマンスなどの要素を総合的に評価するMD Buyline社の調査では、一般撮影装置・透視撮影装置・デジタル式回診用X線撮影装置の各部門で当社は顧客満足度1位に選ばれました。また、同様の評価機関KLAS社による調査でも、デジタル式一般撮影装置が3年連続1位にランクされました。これからも当社は、より良い製品・サービスをグローバルに提供して、さらなる顧客満足度の向上に努めて参ります。

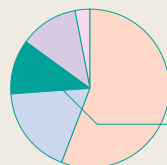
その他の事業



主な事業

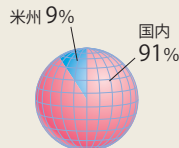
不動産賃貸、不動産管理、ソフトウェア開発、製品設計、建設舗床業

航空機器事業



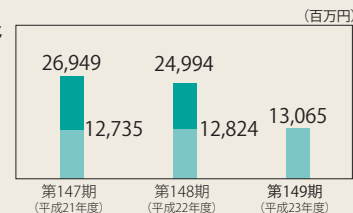
当上半期連結売上高
130億6千5百万円
 (前年同期比2%増)
 売上高構成比 **11%**

地域別売上高構成比



売上高推移 (連結)

通期 上半期



【概況】

- 国内市場は、防衛省向け新型哨戒機 (P-1) 搭載機器や補用品の売上が増加しましたが、主要戦闘機 (F-15) 近代化改修の売上などが減少したため、全体の売上は微減となりました。
- 海外市場は、旅客機向け搭載機器の売上が増加しました。

主な製品

空調システム、飛行制御システム、ヘッドアップディスプレイ、ロケット用バルブ、航空機器機能試験装置

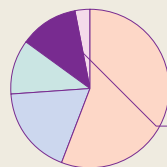
【トピックス】 ボーイング社の最新旅客機に搭載される「フラップ駆動システム」

当社は、ボーイング社の最新大型旅客機B747-8型機の離着陸時の揚力を制御する「フラップ駆動システム」を開発、量産を進めています。この実績をもとに、今後も民間航空機向けの事業拡大を目指します。



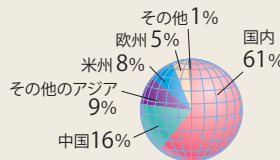
フラップ駆動システムを搭載したボーイングB747-8型機 (写真は貨物機バージョン)

産業機器事業



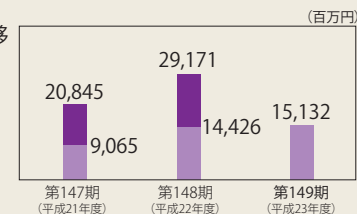
当上半期連結売上高
151億3千2百万円
 (前年同期比5%増)
 売上高構成比 **12%**

地域別売上高構成比



売上高推移 (連結)

通期 上半期



【概況】

- 産業機器では、ターボ分子ポンプはガラスコーター用など中国・台湾向けの売上は増加したものの、半導体・液晶用の需要停滞などにより、売上が減少しました。太陽電池成膜装置は、パネルメーカーでの設備投資の延期などで低調でした。ガラスワインダーや重合ポンプは、中国で大幅に増加しました。
- 油圧機器は、市況の急速な回復に伴い、売上が大きく増加しました。

主な製品

ターボ分子ポンプ、液晶TFTアレイ検査装置、太陽電池成膜装置、液送機器、油圧機器

連結決算の概要

連結貸借対照表

(百万円)

	当上半期末 (平成23年9月30日)	前期末 (平成23年3月31日)		当上半期末 (平成23年9月30日)	前期末 (平成23年3月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	184,491	187,909	流動負債	78,765	84,733
説明1 現金及び預金	29,396	35,455	支払手形及び買掛金	46,068	48,278
説明1 受取手形及び売掛金	74,543	79,669	短期借入金	7,056	9,754
説明1 たな卸資産	70,406	62,682	その他	25,640	26,700
その他	11,264	11,085			
貸倒引当金	△1,120	△982	固定負債	42,634	43,456
			社債	10,000	10,000
固定資産	94,198	96,933	長期借入金	10,817	10,974
有形固定資産	(65,034)	(65,644)	退職給付引当金	14,714	15,155
建物及び構築物	34,997	35,579	その他	7,103	7,326
機械装置及び運搬具	3,586	3,680	負債合計	121,400	128,190
土地	18,755	18,749			
その他	7,695	7,635	純資産の部		
無形固定資産	(6,687)	(6,794)	説明2 株主資本	167,355	166,401
投資その他の資産	(22,476)	(24,494)	資本金	26,648	26,648
投資有価証券	8,153	9,489	資本剰余金	35,188	35,188
長期貸付金	671	876	利益剰余金	106,208	105,244
その他	14,118	14,309	自己株式	△690	△680
貸倒引当金	△467	△180	説明2 その他の包括利益累計額	△10,300	△9,970
			その他有価証券評価差額金	1,477	2,334
			為替換算調整勘定	△11,778	△12,305
			少数株主持分	233	222
			純資産合計	157,289	156,653
説明1 資産合計	278,689	284,843	説明2 負債純資産合計	278,689	284,843

説明1 総資産の減少

たな卸資産が77億円増加しましたが、現金及び預金が61億円、受取手形及び売掛金が51億円それぞれ減少したことなどにより、総資産が62億円減少しました。

説明2 自己資本比率の向上

利益剰余金の増加などにより、自己資本比率が1.5ポイント向上し、56.4%となりました。

説明3 当上半期の業績状況(対前年同期比)

売上高が前年同期に比べて83億円増加したことに伴い、営業利益が26億円、経常利益が24億円それぞれ増加しましたが、過年度法人税等を計上したこともあり、中間純利益は6億円の減少となりました。

連結損益計算書

(百万円)

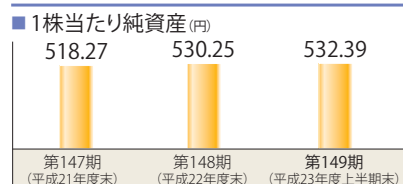
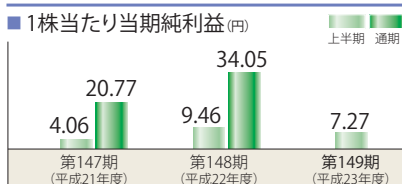
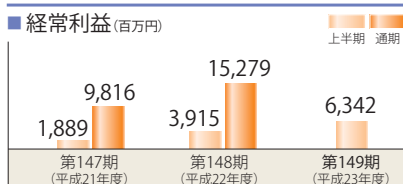
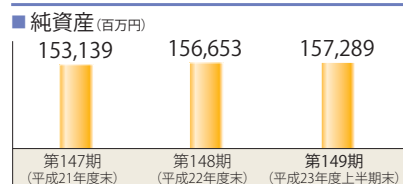
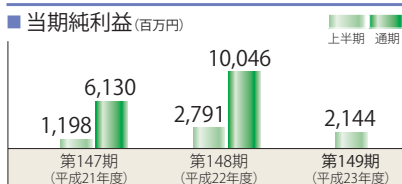
	当上半期 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日)	前上半期 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日)
売上高	125,374	117,082
売上原価	78,217	73,632
売上総利益	47,157	43,450
販売費及び一般管理費	39,847	38,768
営業利益	7,309	4,682
営業外収益	711	901
営業外費用	1,678	1,667
経常利益	6,342	3,915
特別利益	5	5
特別損失	258	392
税金等調整前中間純利益	6,089	3,529
法人税、住民税及び事業税	1,515	1,305
過年度法人税等	1,709	—
法人税等調整額	708	△ 580
少数株主損益調整前中間純利益	2,156	2,803
少数株主利益	11	12
中間純利益	2,144	2,791

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当上半期 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日)	前上半期 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,372	11,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,798	△ 3,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,792	△ 7,811
現金及び現金同等物に係る換算差額	228	△ 863
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 5,990	△ 704
現金及び現金同等物の期首残高	34,221	28,242
現金及び現金同等物の中間期末残高	28,231	27,538

業績の推移〈連結〉



堅調な北米の分析・医用機器事業

世界経済の先行きには不透明感が高まりつつあるなか、顧客ニーズを捉えた新製品やサービスの提供、アライアンスの推進により、業績向上に結びつけている北米事業を紹介します。

■ 分析機器事業

米国は、世界の分析機器販売の約30%を占める最大市場で、特に高機能なハイエンド機器の競争が最も激しい市場です。この厳しい市場で、当社の液体クロマトグラフは躍進し、上期としては過去最高となる受注実績を達成しました。

最先端機種である超高速液体クロマトグラフ^{ネクセラ}Nexeraは、「より正確な成分分離が効率的に行え、研究の質、製品の価値を高めることができる機器」として高く評価され、製薬企業、CRO（受託研究機関）、大学などのお客様に受け入れられました。また、今年3月に米国に投入したトリプル^{ネクセラ}四重極型液体クロマトグラフ質量分析計LCMS-8030は、Nexeraが開拓したユーザーを含め新たな顧客層を拡大しました。これらの新製品の波及効果もあって、ガスクロマトグラフ、

ガスクロマトグラフ質量分析計などが、穀物メジャーや大手の法医学・臨床検査機関等、幅広い市場で拡大しました。



北米の先端機器市場で躍進するNexera



顧客層の拡大に成果をあげるLCMS-8030

アフターサービス事業では、米国の製薬大手企業からマルチベンダーサービス（他社製装置を含めた一括サービス請負事業）を受注するなど、お客様のニーズを捉えたサービス事業の拡充に取り組んでいます。

他社とのアライアンスでは、液体クロマトグラフ用カラムの大手フェノメネクス社との協業強化や、パーフィニティ バイオサイエンス社による全自動タンパク質前処理システムの開発に協力するなど、有力企業や研究機関とのアライアンスも推進しています。この全自動タンパク質前処理システムは、複雑な血清中のタンパク質を分析する際、従来は一日以上かかっていた前処理を10分程度に短縮する画期的な装置であり、名誉ある米国の2011年R&D100賞を受賞しました。

これからも当社は、お客様の価値を高めるための製品・サービスを提供することにより、米国市場で顧客に最も選ばれる企業となるよう努めて参ります。

■ 医用機器事業

米国では、病院におけるX線画像診断装置の被ばく低減への関心が高まっている他、政府の医療保険制度改革を背景に各病院では診断業務や検査の一層の効率化を進めています。

米国の当社医用機器販売会社は、全米のディーラーと協力し、これらのニーズを的確に捉えた製品と高品質なサービスを全てのお客様に提供する体制を整え、顧客満足度を高めることに努めてきました。

このような地道な取り組みが評価され、今上期に米国の大手ユーザー満足度調査機関において、一般撮影装置・透視撮影装置・デジタル式回診用X線撮影装置が顧客満足度1位に選ばれました(3頁トピックスをご参照)。そして、この3月には医療現場でより効率的な撮影・診断を可能にするワイヤレスタイプのデジタル式回診用X線撮影装置(9頁をご参照)を他社に先駆けて米国で発売し、現在、市場全体の35%以上のシェアを獲得しています。

全米における約5,800のほぼ全ての病院は、医薬品や医療機器の調達コストを削減するため、GPO(Group Purchasing Organization)(*)という共同購買組織を利用して購入しています。当社は、顧客満足度の向上に注力して米国の医療市場での認知度を高めてきたことで、2009年に全米で約1,400病院をメンバーに持つGPOとの契約に成功しました。そして、現在では主要なGPOとの契約を行い3,700超の病院への販路を確保することが出来ました。GPOとの契約拡大が奏功したことも

あり、今上期はデジタル式回診用X線撮影装置とデジタル式一般撮影装置が過去最高の業績(半期ベース)を達成しました。今期は、米国最大手のGPOとX線透視撮影装置および一般撮影装置の契約に成功するなど、今後も契約製品の増加や他のGPOとの契約拡大を推進していきます。

これからも当社は、最新の優れた画像診断装置や臨床アプリケーション、高品質なサービスを、数多くの病院に提供し続けることで、米国医療分野への貢献度を高めて参ります。



GPO契約で成功して業績を牽引したデジタル式回診用X線撮影装置

(*) 個々の病院等がメンバーとして共同購買組織(GPO)に参加し、GPOがメンバーを代表して、メーカーと購入品の価格その他の取引条件を交渉する役割を有するが、病院は各メーカーと個別に取引を行う。

トピックス

第149期上半期の主なトピックス

平成23年(2011)

5月 ワイヤレスタイプのデジタル式回診用X線撮影装置を発売

フラットパネル検出器 (FPD) と本体をつなぐケーブルを無くすことにより、病室のベッドなどでの撮影位置合わせを容易にするとともに、FPD全体をカバーで覆うことで手術室や感染症病棟での衛生維持が可能。



デジタル式回診用X線撮影装置
モバイルダート エヴォリューション
MobileDaRt Evolution

6月 国立がん研究センターと世界をリードするがんの高度先駆的医療技術を開発する包括共同研究契約を締結

がんの超早期診断や良性悪性診断を実現する革新的な次世代医療システムの開発などにより、がんによる死亡者の減少とがん患者の療養生活の質向上への貢献を目指す。



中本社長(左)と嘉山孝正国立がん研究センター理事長(右)

7月 東京大学と生活習慣病などの疾患に深く関わる脂質解析に関する共同研究契約を締結

■ 計測機器事業
■ 医用機器事業
■ その他

9月 味の素株式会社と共同開発した高速アミノ酸分析システムを発売

アミノ酸関連物質38成分の一斉分析時間を2時間から9分に短縮。発酵食品、乳製品、食肉、飲料などの食品分野における品質管理などの効率向上に貢献。



アミノステーション
高速アミノ酸分析システムUF-Amino Station

グローバル市場でシェアトップを目指す分光光度計を発売

操作性と成分検出感度を大幅に向上してラインアップを一新。製薬、食品、化学、環境、ライフサイエンスなどの幅広い分野に加えて、新興国を中心に電気、半導体、光学分野の市場・顧客を開拓して拡販し、世界シェアトップを目指す。



紫外可視分光光度計UV-2600/2700



表紙の写真は、今年5月に発売した新製品 ^{ネクセラ} 超高速液体クロマトグラフNexera MPです。従来機種^の3倍にあたる約2,300個の試料をセットし、これらを世界最速で装置内に自動注入することができるユニットを搭載しています。当社質量分析計と組み合わせることで、医薬品の研究開発分野で求められている、多検体をより短時間で高精度に分析するシステムを構築することが出来ます。

会社概要 (平成23年9月30日現在)

商号 株式会社島津製作所
SHIMADZU CORPORATION
創業 明治8年(1875年)3月
設立 大正6年(1917年)9月
本社所在地 〒604-8511
京都市中京区西ノ京桑原町1番地
電話075-823-1111 (代表)
資本金 26,648,899,574円
従業員数 単独 3,153名 連結 10,097名
連結子会社数 国内28社 海外44社

主要な事業所 (平成23年9月30日現在)

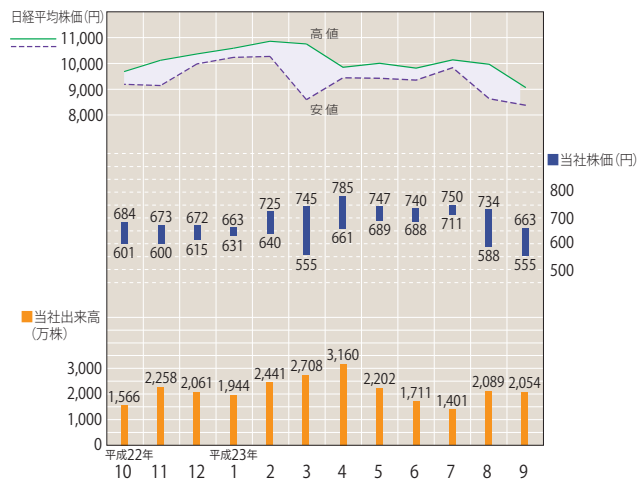
本社 京都市中京区西ノ京桑原町1番地
支社 東京/関西(大阪市)
支店 京都/九州(福岡市)/名古屋/横浜/
北関東(さいたま市)/神戸/つくば/広島/
東北(仙台市)/札幌/四国(高松市)/静岡
工場 三条/紫野(いずれも京都市)/厚木/秦野/瀬田(大津市)
研究所 基盤技術研究所(京都府精華町/東京都千代田区)
田中耕一記念質量分析研究所(京都市)

株式情報 (平成23年9月30日現在)

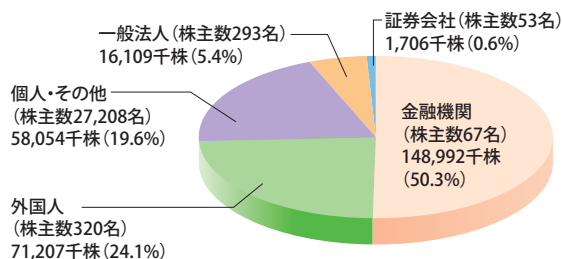
株式の状況

株主数.....27,941名
発行済株式総数.....296,070,227株

株価の推移 (東京証券取引所)



株式の所有者別分布



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,845	7.07
明治安田生命保険相互会社	20,742	7.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,262	6.87
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,672	2.60
太陽生命保険株式会社	7,411	2.51
全国共済農業協同組合連合会	6,942	2.35
東京海上日動火災保険株式会社	6,768	2.29
サジャップ	6,360	2.16
野村信託銀行株式会社(投信口)	5,084	1.72
ザ チェース マンハッタン バンク 385036	5,065	1.72

*持株比率は、自己株式(1,071,280株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会、期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日 (その他必要ある場合は、公告のうえ設定します。)
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ (http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/ir/kk.html) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、京都新聞 および日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所	東京・大阪
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777 (受付時間 土・日・祝日を除く9:00~17:00)

株式に関するお問合せ先

当社の株式に関する住所・氏名等の変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求および相続などのご相談、お手続きは、以下のとおりです。

①証券会社にお預けの株式について

お預けの証券会社にお問合せ下さい。

②証券会社にお預けでない株式について

三菱UFJ信託銀行株式会社にお問合せ下さい。電話(通話料無料)0120-094-777(受付時間 土・日・祝日を除く9:00~17:00)

③未払配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

島津製作所 創業記念資料館のご案内

当館は、創業100年を迎えたのを記念し、創業者である初代と二代目島津源蔵の遺徳を偲び開設しました。館内には、創業以来製造してきた理化学器械、産業機器やX線装置ならびに事業活動に関連する文献・資料などを展示しており、島津製作所の歩みとともに、日本の近代科学技術の発展過程をご覧いただけます。平成23年4月にリニューアルしましたので是非、ご来館下さい。

- 休館日 / 水曜日、年末年始
- 入館時間 / 9:30~16:30 (閉館17:00)
- 入館料 / 大人300円 高・中学生200円
団体割引 (20名以上20%引)



島津製作所 創業記念資料館(国の登録有形文化財)

- 市バス 京都市役所前下車徒歩約2分
- 京阪電車 三条下車徒歩約7分
- 地下鉄東西線 京都市役所前下車2番出口徒歩約3分
- 京都駅からのアクセス
市バス:205(四条河原町方面)、4、17系統乗車
タクシー:約20分



〒604-0921 京都市中京区木屋町二条南
●TEL/075-255-0980 ●FAX/075-255-0985
●<http://www.shimadzu.co.jp/visionary/memorial-hall/>

キリトリ

島津製作所 創業記念資料館

株主様無料入館券

本券1枚につき4名様まで無料で入館いただけます。
(平成24年9月末まで有効)

 SHIMADZU

<http://www.shimadzu.co.jp/>

●再生紙を使用しています。

DP050-0149A
0220-10101-298NS